

令和3年度 第1回 防府市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

■開催日時・場所

令和3年11月12日（金）午前10時から正午まで
防府市役所 議会棟3階全員協議会室

■次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 会長・副会長の選任
4. 議事
 - (1) 協議事項
 - ア 地域の実情に応じた交通サービスの検討について
 - イ デマンドタクシーの運行について
 - ウ 公共交通の利用促進について
 - (2) その他
5. 閉会

■配付資料

	資料名
1	令和3年度第1回防府市地域公共交通活性化協議会 次第
2	防府市地域公共交通活性化協議会 設置要綱
3	防府市地域公共交通活性化協議会 委員名簿
4	資料1 地域の実情に応じた交通サービスの検討について
5	資料2 デマンドタクシーの運行について
6	資料3 公共交通の利用促進の取組について

■出席者名簿 敬称略・順不同

	区分	所属団体・役職	名前	出欠
委員	学識経験者	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科准教授	目山 直樹	出席
	地域公共交通の利用者等	防府市自治会連合会 佐波地域自治会連合会長	山田 拓男	出席
		防府市老人クラブ連合会 理事	湯原 温茂	出席
		防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
		市民代表	権代 祥一	出席
	公共交通事業者等	防長交通(株) 取締役副社長	斎田 稔	出席
		中国ジェイアールバス(株) 運輸部生活交通活性化推進室長	河内 政好	出席
		西日本旅客鉄道(株)山口支社 防府駅長	池永 一民	出席
		(有)野島海運 取締役	阿部 幸典	欠席
		(一社)山口県タクシー協会 理事	大隅 洋三 (代理：重舂 伸)	代理 欠席
		山口県交通運輸産業労働組合協議会 (私鉄中国地方労働組合防長交通支部防府分会 分会長)	武居 雅則	出席
	道路管理者 港湾管理者	中国地方整備局山口河川国道事務所 交通対策課長	栗原 高己	欠席
		山口県防府土木建築事務所 維持管理第一課長	牧 浩一郎	出席
		山口県防府港務所 主査	藤井 健二	出席
	警察	防府警察署 交通課長	胡 和裕	出席
	関係機関	中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官	蔦 真	出席
		山口県観光スポーツ文化部 交通政策課長	伊藤 香緒利	出席
計画作成市	防府市 地域交流部長	能野 英人	出席	
事務局		地域交流部地域振興課 課長	北村 康芳	
		地域交流部地域振興課 課長補佐	重田 英之	
		地域交流部地域振興課交通政策係 係長	岸本 理志	
		総合政策部政策推進課交通政策係 主任	坂井 貴	
		地域交流部地域振興課交通政策係 主任	江山 雄一郎	

■議事録

1. 開 会

2. 委員紹介

委員、事務局紹介

3. 会長・副会長の選任

会長は、防府市地域公共交通活性化協議会設置要綱第4条第1項に基づき、委員による互選の結果、目山委員が会長に選任。副会長は、同要綱第4条第1項に基づき、会長が能野委員を指名。

会長あいさつ

目山会長 現在の学校には、都市計画の教師として勤めているが、以前、民間の技術者として交通計画等に携わっていた。このような経験を活かしながら、進行役に務めたい。

また、この協議会は、意見を求めるものと決議するものがあるが、賛否を明確にし、意見をいただきたい。

防府市の公共交通のあり方を、より良いものにしていけるよう協力をお願いする。

4. 議 事

会長から会議の公開について確認後、議事を進行。

(1) ア 地域の実情に応じた公共交通サービスの検討について

交通事業者から新型コロナウイルス感染症に伴う公共交通の現状を報告

バス事業者① 一般路線は、一番酷いときで、旅客が半分くらいに落ち込み、徐々に回復しているが、1割5分から2割くらい減った状態であり、まだ戻り切っていない、または戻らないかもしれない状況と考えられる。

高速バスは、年末の帰省シーズンに向け再開したいと考えており、準備を進めている。

バス事業者② 高速バス事業が大きな部分を占めているが、収入がほぼ落ちており、大変厳しい状況となっている。

一般路線は、コロナ前に比べ8割から9割程度で、テレワーク勤務やリモート授業などもあり、戻り切らないのではないかと考えている。

感染対策を講じ、運行を継続しているが、欠損が膨らんでいくと、現在の運行が維持できなくなることが考えられるため、バスの利用促進について、行政と協力しながらPRしていきたい。

タクシー事業者 売上が一番少ないときは、観光やビジネスの動きがなく、夜が激減している状況で、売上が前年の2割程度であった。8月から帰省客などの動きがみられ、観光需要が徐々に持ち直しているが、8割~9割の低いところで止まってしまうのではないかと考えている。

運転士は、若干増えているが、フルに回せる状況ではない。

鉄道事業者 コロナに伴う移動制限により、大幅な赤字を計上する状況である。

緊急事態宣言が解除されてから、近距離利用が6割、長距離利用が5割、定期券利用が8割程度まで回復している。定期券利用が回復していないのは、テレワークや在宅勤務が多くなっていると考えられる。

事務局から資料1を説明。

A 委員 人口の密度が高い所で空白になっているところがあるが、この部分について、今後、どのような計画になっているのか。また、道路整備が進んでいるところもあるが、バス等を運行することはできないだろうか。

事務局 デマンドタクシーは、運行を担うタクシーの運転士不足により広げていくことが困難な状況である。以前から居住されている地域は道幅が狭いこともあり、バス路線を変えるのも難しい状況である。地域にどのような移動手段を必要とする人がどの程度いるのかということも含め、地域と話しながら進めていきたい。

B 委員 自社だけで運行できる路線は少なく、行政からの補助があり、何とか維持している状況である。運転士不足の問題があり、現在の路線にプラスアルファすることは難しい状況である。しかし、家の近くで乗りたいという気持ちはよく分かるので、行政と相談し、対応できるものは対応したい。

目山会長 知恵を出したら解決できるようなところがある。生活時間帯をうまくずらす、モビリティマネジメントの例がある。現在は、一つの解決方法としてデマンドタクシーがあるが、新しくNPO法人の運行も出始めており、社会全体でうまくやっていく手立てがあると感じている。

C 委員 タクシー利用の少ない時間帯であれば、乗務員の空きがあるので対応できると考えられる。他自治体で、地域のコミュニティタクシーを走らせたいという要望があり運行を開始したが、利用がほとんどないという事例がある。本当のニーズとうまく合わなければ、公共交通の目的に寄与しないことが生じてしまう。

目山委員 通院でデマンドタクシーが使われるなら、デマンドタクシーの診療時間枠を決めるなどすれば、デマンドタクシーが使われると思う。病院と連携できるかわからないが、このような調整役が行政の機能ではないかと考えられる。

D 委員 ニーズがあり、持続可能な形でなければ、やっても意味がないと思う。資料で「地域が主体的に移動手段の確保に取り組み際のプロセス」が示されているが、この協議会で承認してもらいたいということか。

事務局 手順をしめたもので、承認をお願いするものではない。この協議会で、先進的な事例や委員の様々な立場から意見をいただき、実際に進めていく上で参考にしたいと考えている。

E 委員 山口県では「新たな地域交通の取組方針」を策定した。様々な地域の課題解決に資する方策として、タクシーの利用時間帯を分散させる実証実験等を行っており、横展開していきたいと考えている。

目山会長 比較的小さな自治体としての話なので、1つのことで、いくつものメリットがあるものを生

まなければ、投資効果になっていかないため、その辺りも意識していただきたい。目的に対してははっきり答えがないと、その効果が上がらないという問題もある。

A 委員 防府市でもスクールバスを運行しているが、空き時間に地域の人に乗ってもらうようなことは検討できないだろうか。

目山会長 アイディアとしてはあるが、実際に運行するとなれば、バス事業は人を乗せて運ぶものなので、難しい。

(1) イ デマンドタクシーの運行について

事務局から資料2を説明。

目山会長 運行計画に障害者等の記載があるが、障害者手帳等の交付を受けている者が対象になるのか。

事務局 障害者等の記載は、運賃に係ることであり、乗車はだれでも可能である。

◎協議結果

来年度の切畑デマンドタクシー及び玉祖デマンドタクシーの運行については、今年度と同様に実施することとする。

(1) ウ 公共交通の利用促進について

事務局から資料3を説明。

B 委員 子どもに乗ってもらいたいということで「こども50円バス」を実施しているが、なかなか乗車に繋がらない。手詰まり感があるというのが正直なところである。

目山会長 現在、学校教育でタブレットが導入されており、タブレットを活用し、バスの乗り方を調べる課題等を出す等の促進策も考えられる。このような学校との連携が進まないかなと感じている。

D 委員 小学生のバス乗り方教室に参加したが、子どもたちの「楽しかった」という感想をよく聞く。このような取組を継続していただきたい。

A 委員 高齢者でも、簡単にバスに乗れることがわかれば、利用に繋がるのではないかと思う。市広報等で周知できたらと思う。

目山会長 海外では、公共交通の乗り方に困っていると、地元の人が身振り手振りで教えてくれる。このような、「おもてなし」は防府の得意とするところなので、親切に教えてくれる文化を持たないといけないという感じがする。

F 委員 防府市ではタクシーの運賃助成などが実施されているが、山口市では、100円バスが実施されている。市の負担等もあるが、バスの乗客を増やすアイディアとして考えられる。

(2) その他

特になし。

閉 会
